

生産・出荷実績を発表した。

生産・出荷の前年同月比マイナスは、生産は平成24年2月以来7ヵ月ぶり、出荷は2ヵ月連続。

生産は前年同月比7.4%減の6万5,484トン、出荷は同7.9%減の6万5,403トンとなった。出荷の内訳は、鋳物が前年同月比6.7%減の1万7,229トン、ダイカストが同9.9%減の3万6,559トン、板は同5.2%減の4,834トン、押出が同11.4%増の1,961トン、鉄鋼が同9.7%減の2,734トン、合金地金が同0.4%増の2,082トンだった。

また品種別にみると輸入は、新地金が4,416トン、アルミくずが7,309トン、ベースメタルが1万3,436トンで、その他も含め合計では8万3,727トンとなった。

出荷は新地金が2,876トン、アルミくずが5,339トン、ベースメタルが1万6,833トンで、その他も含め合計では6万1,284トンとなっ

た。

なお参考として、2年前の平成22年9月(生産:68,672トン、出荷:68,858トン)比でみると、生産は95.4%、出荷は95.0%であった。

世界を結ぶ  
専門商社  HGITANI

亜鉛・鉛・銅・ステンレス・機械・半導体  
アルミ・金属珪素・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀1-3-7  
TEL(06)6444-1520~1530

東京支店 東京都千代田区神田錦町3-15  
TEL(03)5282-4800

名古屋支店 名古屋市中村区名駅3-16-22  
TEL(052)571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾  
マレーシア・フィリピン・上海・深圳  
<http://www.ogico.co.jp>

# 10月の銅スクラップレポート及び11月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジはLMEセツルが7500-8300ドル、建値が630-690円

■概況:前半は米ISM製造業景況感指数が4ヵ月ぶりに50を上回った事や失業保険申請件数が33万9千件と予測の36万5千件を上回ったものの、世界銀行が世界経済成長見通しを+3.3%と引き下げた事や米格付け会社フィッチがユーロ諸国の格下げをおこなった事を嫌気、8179(セツル)と約20ドル下落しての前半締めとなった。

後半も下落の流れを止める事が出来ず10月の米住宅指数が6年4ヵ月ぶりの高水準だったことや9月の米住宅着工件数が+15%(前月比)87万2千件と4年半ぶりの高水準だったものの、注

	7月	8月	9月
生産台数	92万 2685台	73万 5999台	77万 3990台
前月比	+3.3%	-20.2%	+5.2%
昨年対比	+16.7%	+4.5%	-12.4%
	8月	9月	10月
販売台数	23万 2372台	28万 0476台	22万 5543台
前月比	-29.2%	+24.1%	-21.8%
昨年対比	+7.3%	-8.1%	-9%
	7月	8月	9月
新設住宅着工数	7万 5421戸	7万 7500戸	7万 4176戸
季節調整 前月比	+4%	+2.1%	+15.3%
昨年対比	-9.6%	-5.5%	-2.5%

目のEU会合でスペイン救済に関して具体案が出なかったことや欧州のPMI指数が45.3と予測を下回った事を嫌気し暴落 11月2日現在、前半締めから386ドル下落の7811ドル 建値66万円のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると

中国向け輸出  
ライセンス取得  

高価買取

磁石屑 (ネオジム・サマリウム・アルニコ合金)  
二次電池屑 (リチウムイオン・ニッケル水素)

レアアース全般販売  
レアメタル全般リサイクル

新日鐵住金ステンレス・日新製鋼指定 大阪商工会議所会員 大阪府工務協会会員

 富士興産株式会社

本社 〒556-0029 大阪市浪速区橋南1-9-28  
TEL.06-6556-3930 FAX.06-6567-3916 IP.050-5507-4578

倉庫・第一工場 〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3-7-14  
TEL.06-6552-1155 FAX.06-6552-1414 IP.050-5525-7707

第二工場 〒557-0063 大阪市西成区南津守5-4-17

関連会社 大阪金属株式会社 大阪市浪速区

<http://www.fujikosan.jp> E-mail: aat61140@par.odn.ne.jp

自動車生産台数は前月比+5.2%の77万3990台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-21.8%の22万5543台(前年比-9%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+15.3%(昨年比-2.5%)の7万4176戸であった。

また貿易関連指標では、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が+5.5%の4万5075t、スクラップが+24.7%の2万7832t。輸入は電気銅が前月比-4%の2356t、スクラップ-9.8%の7443t。また前月の国内指標では、日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比+9.6%の6万3703t(昨年対比-6.9%)。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると前月比+2.7%の5万7200tであった(昨年対比-3.3%)。

■見通し: 今月は自動車生産、販売共にについては二桁悪化、住宅関連は先月の悪化から回復横ばい基調。欧州懸念は結果的にスペインが救済を申し出るなど一歩前進したが 欧州会合でスペイン救済に関しての具体案がでないなど一致団結しておらず、まだまだ回復準備への道は険しい。自動車生産は前年比-12.4%の77万3990台と1年ぶりの前年割れ、レポート上でグラフがある2008年から最低水準。また国内自動車販売台数が22万5543台と前年比-9%と悪化。自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比+9.6%の6万3703tの昨年対比(-6.9%)と16カ月連続前年割れ。銅電線出荷量は、前月比+2.7%の57200t、昨年対比-3.3%と8カ月ぶり減少へ。自動車販売の悪化を受けて今後を悪化へ。新設住宅着工数は季節調整前月比-2.5%の7万4176戸 前年比は+15.3%と大幅増加で今後の復興需要次第。輸出に関しては、電気銅輸出が前月

比+5.3%の4万5075tと増加。銅スクラップは+25%の2万7832tとこちらは大幅上昇した。輸入は電気銅が-4%の2356tスクラップは-9.8%の7443tと内需の悪化を受けて減少。

銅需給に関しては、先月から自動車関連の需要が急激に悪化、自動車販売台数も-9%と大幅減少、生産台数でも-12.4%急減している。また更なる悪化の可能性がある。ただ住宅着工数のみが前月比(季節調整済み)+15.3%(昨年比-2.5%)の7万4176戸と何とか横ばいで推移。その他の弱電業界も引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては16カ月連続悪化の-6.9%(前年比)。銅需要に関しては欧州経済の停滞 それによる中国経済の伸び悩み(輸出の約半分が欧州向け)が台頭。また日中領土問題などによる中国向け輸出の停滞や長期化する円高からの先行き不安からメーカーは買い気なし。銅価格に関しては、米国のQE3などのプラス材料はすべて出尽くし感があり、新規大型プラス材料は望めず、上値は直近高値の8300ドルが限界。下値は8000ドルをあっさり割り込み7800ドル近辺を推移してる事から欧州のゴタゴタが加われば更なる下振れが考えられ7500ドルも視野にはいるのでは。銅建値に関しては63-69万円程度と予測。

### 鑄物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



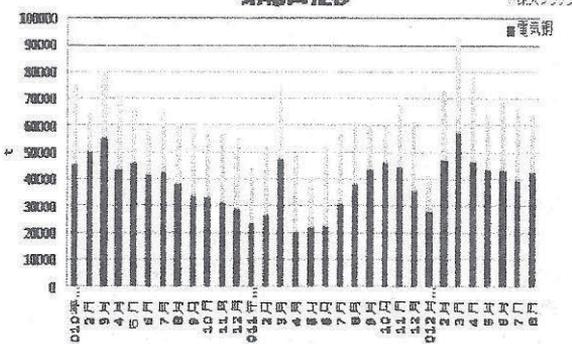
角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314  
電話 0774-43-6700 代表

品名	7月	8月	9月	品名	7月	8月	9月
電気銅	3万9980t	4万2724t	4万5075t	電気銅	2106t	2453t	2356t
前月比	-7.8%	+6.9%	+5.5%	前月比	-35.4%	+16.5%	-4%
スクラップ	2万7231t	2万2322t	2万7832t	スクラップ	5850t	6788t	7443t
前月比	+5.1%	-18%	+24.7%	前月比	+5.2%	+15.7%	-9.8%

銅輸出推移



銅輸入推移

